

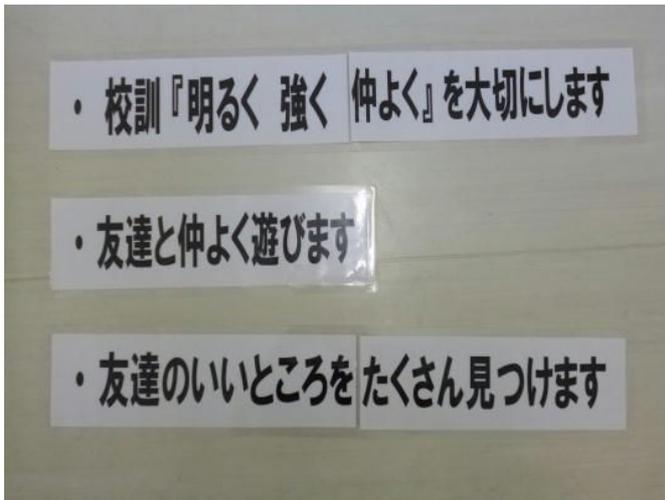
「いじめ・暴力追放」をめざして【児童・生徒】

赤穂市立赤穂小学校 児童会

1 私たちの「いじめ・暴力追放」憲章

なかよし宣言（憲章）

- ・校訓「明るく・強く・仲よく」を大切にします。
- ・友だちと仲よく遊びます。
- ・友だちのいいところをたくさん見つけます。



【掲示している憲章内容】

●校訓「明るく 強く 仲よく」は、知・徳・体を表しています。伝統のあるこの校訓を引き継ぎ、大切にしていきます。また、友だちを大切にしていなかつて遊ぶ、友だちのいいところをたくさん見つけていきます。この3つのことをなかよし集会で宣言しました。そして、学年・学級でも掲示し、いろいろな行事や活動のときに意識するようにしています。

●赤小の児童玄関に、作成した宣言を掲示しています。

- 「な」・・・四年生作成
- 「か」・・・二年生作成
- 「よ」・・・三年生作成
- 「し」・・・一年生作成
- 「宣」・・・六年生作成
- 「言」・・・五年生作成

このように、各学年ごとにつくったものを合わせて仕上げています。文字はちぎり絵にしました。そして、背景は手のひらをスタンプしています。一人一人が自分の決意を表す印として、手形にしました。【児童玄関に掲示されているなかよし宣言】



昨年の「なかよし宣言」は、今年も全校で引き継いでいます。今では、どの学年でもなかよし宣言の3つの内容（①校訓「明るく・強く・仲よく」を大切にします。②友だちと仲よく遊びます。③友だちのいいところをたくさん見つけます。）を言うことができます。運営委員会でも、いつもみんながなかよくなれることを意識して、取り組むようにしています。昼休みは、学年を超えて遊んだり、毎朝朝当番をしてもみんながあいさつを合ったり、声をかけ合ったりしている様子をよく見るようになってきました。だんだんなかよしの気持ちが全校へ広まっていっていることを実感しています。また、先生たちも一緒に遊んでくれるので、楽しいです。

2 憲章をつくるまでの取組と内容

(1) 運営委員会での話し合い（平成25年1月9日）

これまで行ってきた活動や児童集会の内容とその目的について運営委員会で確認をしました。これからも全校の児童が、なかよくしていくための活動や児童集会のあり方について計画をしました。

(2) 代表委員会での話し合い（平成25年1月11日）

「なかよし宣言」制定に向けて、その目的や活動について各学級代表に提案をしました。

(3) 各学級(学級会)での話し合い（平成25年1月15日）

これまで行ってきた活動や児童集会の目的とこれから行おうとしている活動や集会の目的を確認しました。そして、各学級で「なかよし宣言」の内容を考えました。さらに、なかよし宣言のポスターづくりの計画をたて、各学年でつくりました。

(4) 「なかよし集会」(児童集会)の実施（平成25年1月18日）

1, 2学期に行ってきた活動や児童集会を振り返り、それらの活動や集会の目的を確認しました。全校のみんなが、これからもなかよくするための集会であることを確認し、「なかよし宣言」を行うことによって全校みんなの気持ちを一つにすることができました。



【H24年度 なかよし集会の様子】

(5) 各学級（学級会）での話し合い（平成25年1月21日）

「なかよし宣言」の具体化に向けて、各学級で今後の取り組みを計画し進めていきました。

月	活動	目的
1	赤小なかよし宣言 (なかよしポスター制作)	・赤小なかよし宣言を行い、これまでの活動の目的を確認し、これからの活動においても友達によさやつながりを意識するため。
2	赤小ギネス大会	・全校でさまざまなゲームを行うことにより、友だちのがんばりをみんなで認め合うため。
3	なかよしエコキャップ運動	・全校の力を合わせて大きな作品を作成することにより、みんなの気持ちを一つにして作品を作り上げることのすばらしさを感じたり、友だちのがんばりを認めて絆を深めたりするため。

3 自分たちの活動にするために

- これまで行ってきた活動や児童集会とその目的を振り返りました。みんながなかよくなるために行ってきた活動や集会であったことを確認することができました。
- 運営委員会で話し合いの場をつくり、さらにみんながなかよくなるための全校での取り組みを計画しました。(なかよし集会・なかよし宣言・ポスターづくり・今後の行事など)
- 代表委員会および学級会で話し合いの場をつくり、今後の計画について各学級で確認するとともに、次時の児童会活動の際には、その活動の目的(校訓を胸に・友だちとなかよく遊び・友だちのいいところを見つける)を大切に一人一人が自覚をもって参加できるようにしました。

【活動内容とねらい】

月	活動	目的
H24 4	赤小なかよし遠足	・交流学年で遠足に行き、ふれあい遊びを行うことにより新たに会った友達との輪を広げ、友だちのよさを見つけるため。
6	赤小交流給食	・交流学年で給食を食べ、その後、ふれあい遊びを行うことにより、さらに友だちとの絆を深めるため。
9	赤小運動会応援合戦	・全校で力を合わせ、応援練習や応援合戦を行うことにより、全校が一つになったときの力や気持ちの良さを味わったり、友だちのがんばりを認め合ったりするため。
1 1	赤小あいさつ運動 (強化月間)	・全校で元気なあいさつを進んで行うことにより、さらに友だちの輪を広げたり絆を深めたりするため。
H25 1	赤小なかよし宣言 (なかよしポスター制作)	・赤小なかよし宣言を行い、これまでの活動の目的を確認し、これからの活動においても友だちのよさやつながりを意識するため。
2	赤小ギネス大会	・全校でさまざまなゲームを行うことにより、いろいろな特技をもっている友だちのよさに気づき、認め合うため。
3	なかよしエコキャップ運動	・全校の力を合わせて大きな一つの作品を作成することにより、友だちのすばらしさを認めたり絆を深めたりするため。
H25 4	入学式(歓迎の言葉)	・新たな仲間である1年生に、歓迎の言葉で宣言内容を分かりやすく説明することにより、「なかよし宣言」を大切にしてお過ごしもらうため。
5	1年生を迎える会・歓迎遠足	・全校が一丸となって1年生を歓迎し、みんながなかよく遊んだり友だちのいいところをみつけたりするため。
6	なかよし交流給食	・異学年と交流することにより、お互いを知りよいところを見つけるため。

4 自分たちの気持ちをつないでいくために

(1) 平成24年度の取組

① なかよし宣言の掲示

児童玄関に全校児童で作成した「なかよし宣言」を掲示し、日常的に意識できるようにしています。運動場に出るとき、教室へ戻るとき、これを見たら「友だちとなかよくできたな」「〇〇さん、やさしい言葉をかけていたな」「〇〇さん、ボール投げるのうまいな」と、全校でなかよし宣言したことを思い出します。



② いじめ防止標語の作製・掲示

いじめ防止に関する標語（夏季休業中募集）を低・中・高学年別に児童玄関に掲示しています。私たちの思いをみんなに知ってもらえるのはとても嬉しいです。低学年から高学年までそれぞれ大切にしていることや頑張っていることがあるんだとわかります。次は、誰のどんな標語が掲示されるのか楽しみです。

③ ギネス大会

児童集会（赤小ギネス大会）を通して、友だちのがんばりやいいところを見つけたり、なかよく遊ぶことの楽しさを体験させたりすることができました。「なかよし宣言」の目的をはっきりさせることにより、友だちとなかよく遊べたし、友だちのいいところも見つけることができました。



④ なかよしエコキャップ運動

エコキャップ運動（赤穂ライオンズ主催）へ参加しました。どんな内容にするか考えたとき、私たち赤穂小学校が今一番大切にしていること「なかよし」をテーマにすることを思いつきました。全校のみんなが丸となってペットボトルを集め、運営委員と6年生を中心に作品を仕上げました。「心が笑顔」のシンボルマークが、まるで赤小のみんなの心みたいでとても気に入っています。

(2) 平成25年度の取組

①入学式

昨年度のなかよし宣言を受け継いだ私たちは、赤小の一員として大切にしていきたいことの一つとして「なかよし宣言」を、新1年生に伝えたいと思い、歓迎の言葉に取り入れました。「これが私たちが目指している赤小だ!」と自分たちが大事にしている「なかよし宣言」を6年生全員で大きな声で、気持ちを込めてコールしました。1年生に、友だちを大切にすることの大切さが伝わったのではないかと思います。



【入学式での歓迎の言葉を伝えている様子】

②1年生を迎える会・歓迎遠足

1年生が入学してから1ヶ月が過ぎ、運営委員を中心に1年生を迎える会と歓迎遠足を計画しました。その時には、全校の前で「なかよし宣言」を確認しました。1年生も入学式のときに話したことを思い出してくれたようでした。また、2～5年生のみんなも昨年のなかよし宣言を思い出したようで、これから行く歓迎遠足のときに「友だちとなかよく遊ぼう」「友だちのいいところをたくさんみつけるぞ」と話をしていたのを聞いて、とても嬉しかったです。



【1年生を迎える会】



【歓迎遠足】

③毎日のあいさつ運動・清掃（無言助け合い）運動

赤小の伝統になっている6年生の朝のあいさつ運動と清掃（無言助け合い）運動。赤小の6年生は、毎朝校門で全校のみんなにあいさつをしたり、児童玄関前のそうじをしたりしています。今年もこれまでの6年生のすばらしい取組と気持ちを引き継ぎ、あいさつと清掃（無言助け合い）運動を行うことにしました。でも、今年は「みんなの輪が広がるように」「友だちのいいところを見つけるために」というさらに大きなめあてをもって行うようにしています。だから、今まで以上に元気な声でどの学年の仲間にもあいさつをしています。すると、だんだんと元気な声であいさつを返してくれて「赤小がさらに明るくなってきたな」「あの子は元気な声であいさつができるんだな」とこちらも嬉しくなってきました。毎朝の掃除も落ち葉がたくさんで大変だけど、仲間が手伝ってくれたり、違う学年の子が手伝ってくれたり「友だちってあたたかいな」「今度はぼくが手伝おう」と前向きな気持ちになってきました。これからも、この活動の目的を意識しながら続けていくことで「なかよしの輪」を、さらに広げていきたいと思います。

④なかよし交流給食・交流遊び

なかよし交流給食・交流遊びは、1・6年、2・4年、3・5年と交流学年に分かれて行っています。ただ行うだけでなく、違う学年の友だちともなかよく遊び、友だちのいいところを見つけるという目的を運営委員会で考え、代表委員会を通して全校で確認してから行いました。これをきっかけに、業間休みや昼休みも学年をこえて遊ぶことも増えました。仲間の輪が広がることはとても嬉しいし、たくさんの友だちと一緒に遊ぶことはやっぱり楽しいです。先生たちも仲間に入ってくれるので、さらに盛り上がるのがよくあります。



【交流給食 1・6年】



【業間休みや昼休みに遊ぶ子ども達】



【交流給食 3・5年】



【交流遊び2・4年】

⑤集会委員会による「いじめを許さない集会」

運営委員会の取組を一緒に行ってきた6年生を中心に、委員会活動でも「いじめを許さない」ということを全校に訴えていきたいという声が上がりました。昨年度からの取組を見ていて運営委員会以外の赤小の仲間たちも、自分たちでもできることをしようと活動を始めました。一生懸命演技をしながら伝えようとしている姿を、全校のみんなが真剣に見ていました。それを見た低学年のみんなも「いじめはあかん。」「したらあかん。」とつぶやいていました。



【いじめをテーマにした集会活動】

5 私たちの決意

私たちは、これまでも全校がなかよくなるために多くの活動を行ってきました。その活動の目的をはっきりさせ、全校で確認し合うことによってさらに気持ちが一つになったような気がします。みんながなかよく過ごすためには、お互いの気持ちを考えて話をしたり行動したりすることが大切だということも実感しています。

昨年度から引き継いだ「なかよし宣言」を大切に、今年度も運営委員会を中心にみんなが校訓「明るく・強く・仲よく」に恥じない心で行動できるように、互いにいいところを見つけたり、アドバイスをしたりしていきます。どんな活動や集会をするときもなかよし宣言を意識して活動することがどれだけ大切なことか実感しました。

一人が変わればみんなも変わっていくと思います。一人一人がつながり合い、学級、学年、学校とその輪を大きくすることにより、いじめや暴力を許さない、なかのよい赤穂小学校にしていきます。

6 市民のみなさんへ

大人のみなさん、いつも赤穂小学校の私たちのために力をかしていただきありがとうございます。朝早くから登校を見守ってくれるおかげで、安全で元気に登校できています。1年生は、地域の高齢者の方々に昔遊びを教えてもらっています。2年生は、町探検でお店の人たちや買い物に来ている人たちに協力してもらっています。3年生は、おたか台山登山のとき、一緒に登って自然についていろいろと教えてもらっています。4年生は、浄水場見学での学習に協力してもらっています。5年生では、赤穂の米づくりについて教えてもらっています。6年生は、キャリア教育で働くことについてお話をしてもらったり、働く姿を見せてもらったりしました。また、学校の目の前にある加里屋川の環境活動を、6年間を通して行うときにも、多くの人たちに協力してもらっています。

もちろん、お世話になっていることはこれだけではありません。家の人たちが、私たちのために一生懸命働いてくれていること、家に帰ってから私たちの話を聞いてくれることとても感謝しています。いつも多くの人たちが私たちを見守り、力を借してくださっていることを忘れません。私たち赤小の児童は、運営委員会を中心に「なかよし宣言」を行い、気持ちを一つにいじめや暴力を許さない学校づくりを進めています。これまでも友だちとなかよくできるように活動や集会を行ってきましたが、もっともっと一人一人が意識してクラスでも話し合い、全校がつながり合える学校にしていきたいと思っています。確実に私たちの心は、前を向いて動いています。

大人のみなさん、これからも私たちの成長のために力をかしてください。そして、見守ってください。私たちはこれからも校訓を大切に、友だちとなかよく遊びます。また、友だちのいいところをたくさん見つけていきます。大人のみなさんにも私たちのいいところをたくさん見つけてもらえるように、全校の心を一つにしてこれからも頑張っていきます。



【助け合いながら行っている加里屋川清掃の様子】